



提供年月日：令和7年(2025年)12月26日

調査手法等に関すること

部 局 名：知事公室

所 属 名：広報課

係 名：県民の声係

担 当 者 名：藤澤、田中

連絡先(内線)：077-528-3045 (3045)

調査結果に関すること

部 局 名：総合企画部

所 属 名：高等教育振興課

室 名：県立大学係

担 当 者 名：竹村、宮崎

連絡先(内線)：077-528-3274 (3274)

調査結果の活用に関すること

部 局 名：公立大学法人滋賀県立大学

所 属 名：事務局経営企画課

係 名：企画情報係

担 当 者 名：林

連 絡 先：0749-28-8234 (8234)

令和7年度第5回 「しが web アンケートプラス調査」

(県内向け調査)の結果について

1 調査の目的

滋賀県内にお住まいの方を対象として、滋賀県に対するイメージ・意識・認知度等をインターネットを活用して適時迅速に調査し、速やかに県の施策に活用するための基礎資料とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内在住の満18歳以上の個人
- (2) 標本数 500人
- (3) 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答するweb調査
- (4) 調査期間 令和7年11月10日(月)～11月17日(月)
- (5) 調査会社 株式会社ブランド総合研究所

3 調査項目

滋賀県立大学に関する認知度・関心度について

4 主な調査結果 ※詳細は別添集計表(エクセル表)を参照ください。

Q1：滋賀県立大学(以下「大学」という)について「知っている」・「大学名だけ知っている」人の合計は9割(90.0%)。

- Q2：大学について「友人・知人」から知った人が一番多く（35.8%）、その次に「家族」から知った人が多かった（21.6%）。
- Q3：大学の教育への印象として「滋賀県内の地域に出て学べる」という印象を持つ人が約半数（47.8%）。
- Q4：大学の研究への印象として「琵琶湖の環境を対象とした研究を行っている」と「滋賀県内の地域・文化・社会を対象とした研究を行っている」と回答した人がそれぞれ約4割（42.0%と38.0%）。
- Q5：大学の学部名・学科名（環境科学部・工学部）を聞いてイメージができるかには、「工学部」で「イメージできる」・「なんとなくイメージできる」と答えた人が約6割（58.2%）。
- Q6：大学の学部名・学科名（人間文化学部・人間看護学部）を聞いてイメージができるかには、「人間看護学部人間看護学科」で「イメージできる」・「なんとなくイメージできる」と答えた人は約6割（61.0%）。
- Q7・Q8：大学への期待度として「高度の専門知識・技能を身に付けた人材を育成している」と「滋賀県や県内市町の政策の企画や実施に貢献している」で「大いに期待する」・「少し期待する」が約6割（58.2%と57.2%）。
- Q9：回答者の居住地は、大津市が1番多く約3割（32.4%）。
- Q10：「滋賀県立大学」の認知度や魅力を高めるために必要なこととして、「PR」「広報活動」「発信」「地域」「キャンパス」「認知度」といった言葉が特徴的だった。